

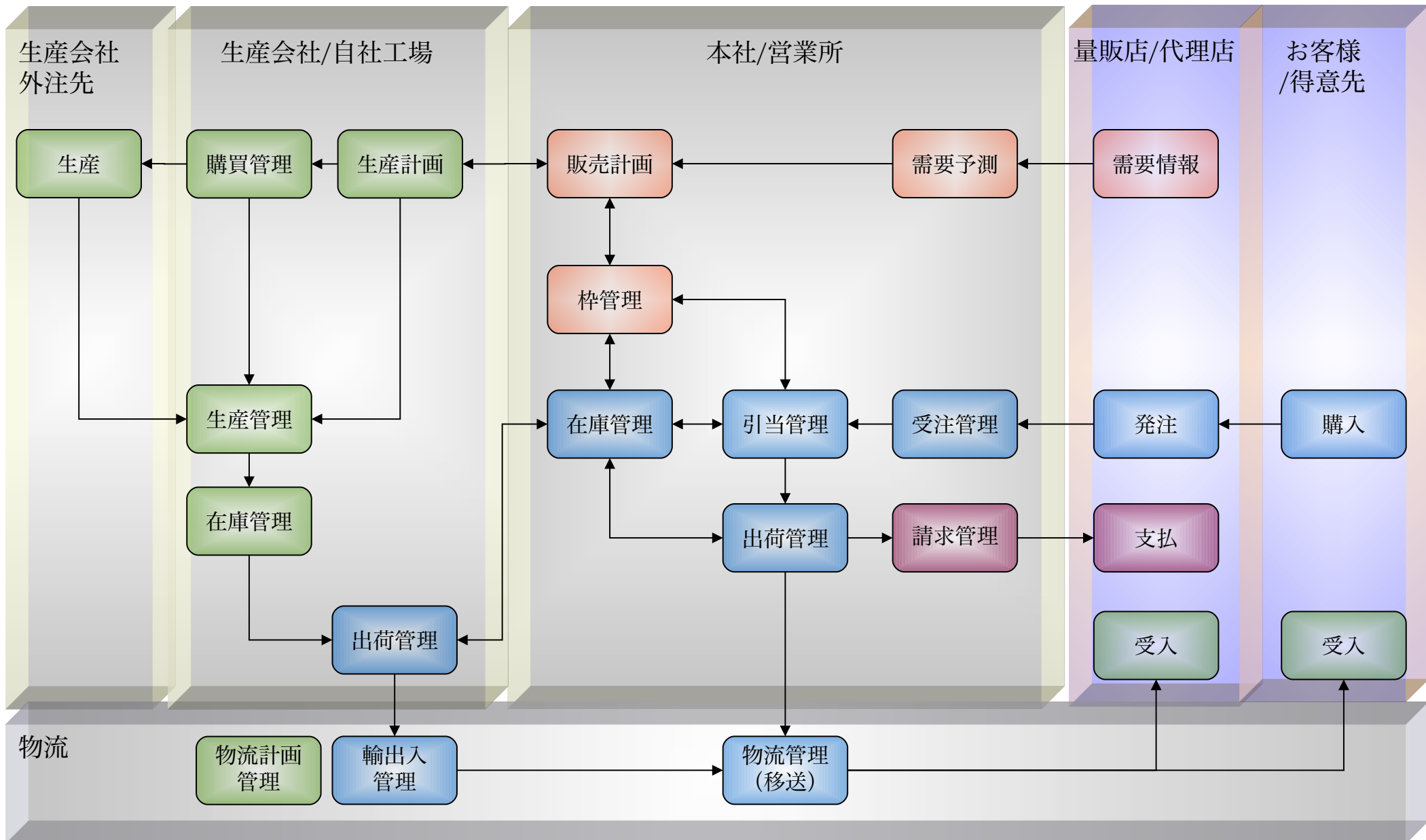
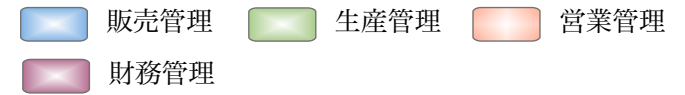
導入メソッドロジック プロジェクト計画書

Everyone

目次

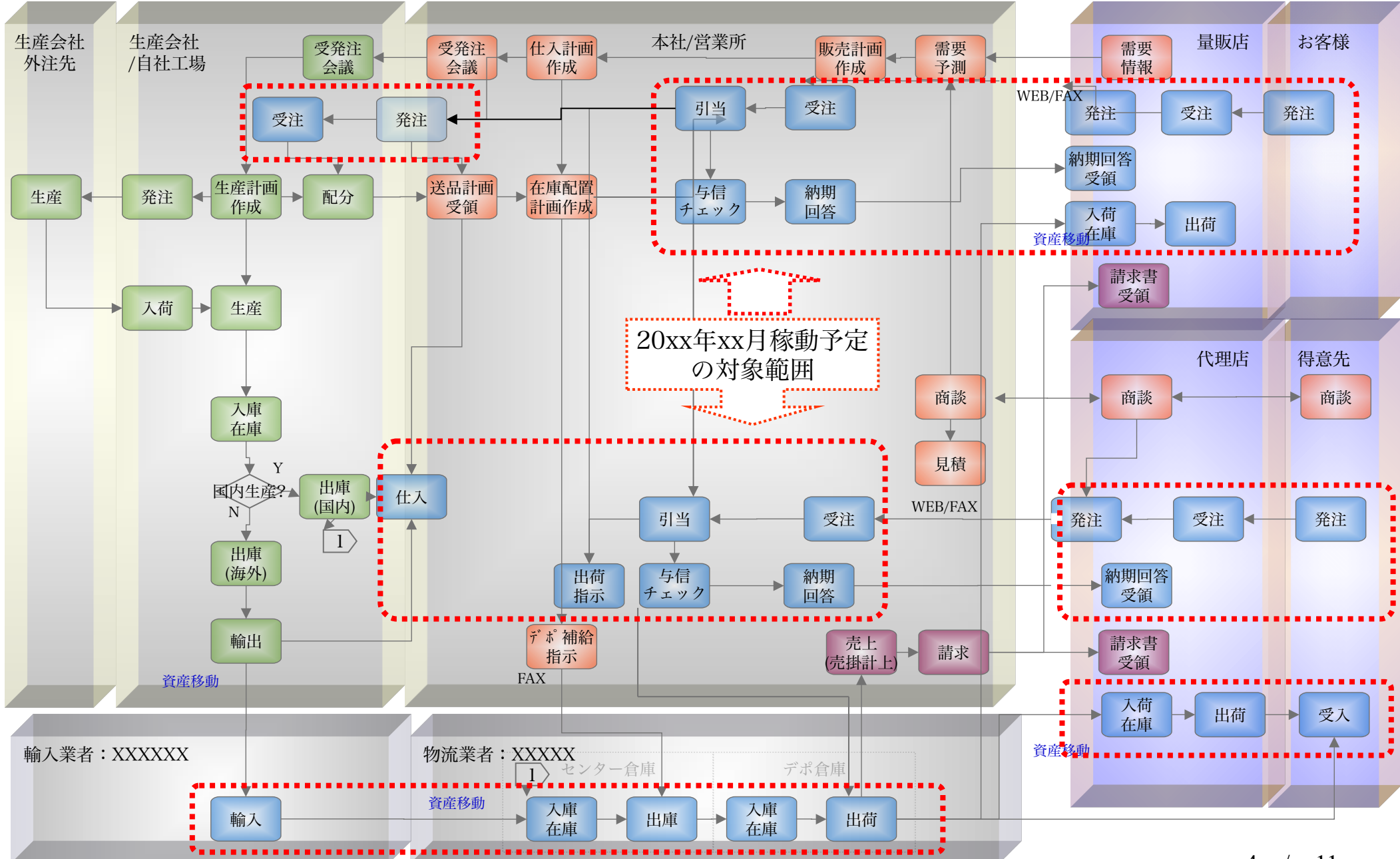
1. 経営目標／会社方針
 2. 新業務プロセスフロー（プロジェクト範囲）
 3. 重要成功要因
 4. 追加開発工数の抑制
 5. プロジェクト全体スケジュール（案）
 6. プロジェクトアプローチ概要
 7. プロジェクトスケジュール
 8. プロジェクトマイルストーン
 9. ワークショップの進め方
- 参考. ビジネスマッチングの進め方

2. 新業務プロセスフロー (ハイレベル)



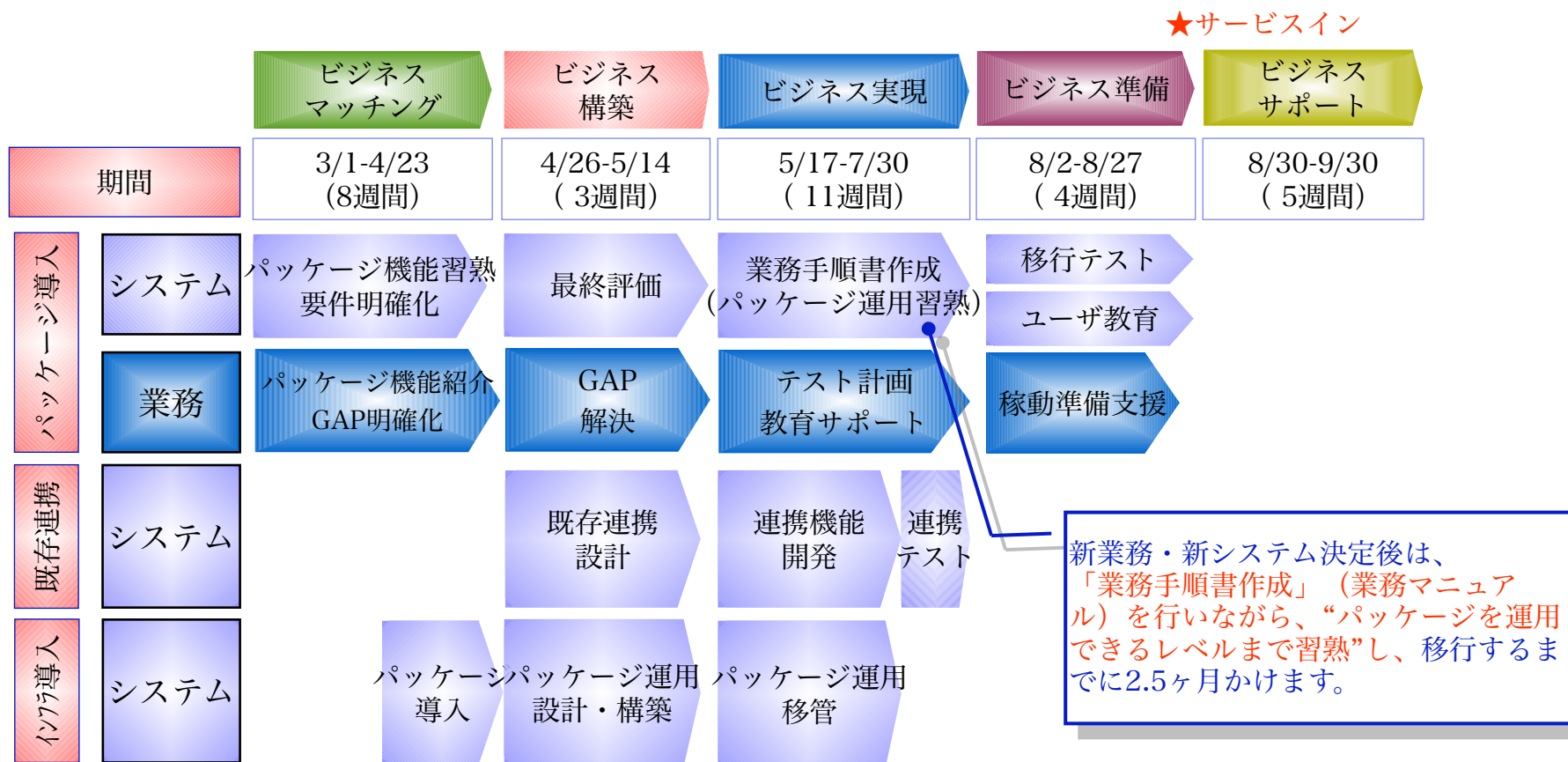
2. 新業務プロセスフロー (レベル1)

- 販売管理
- 生産管理
- 営業管理
- 財務管理



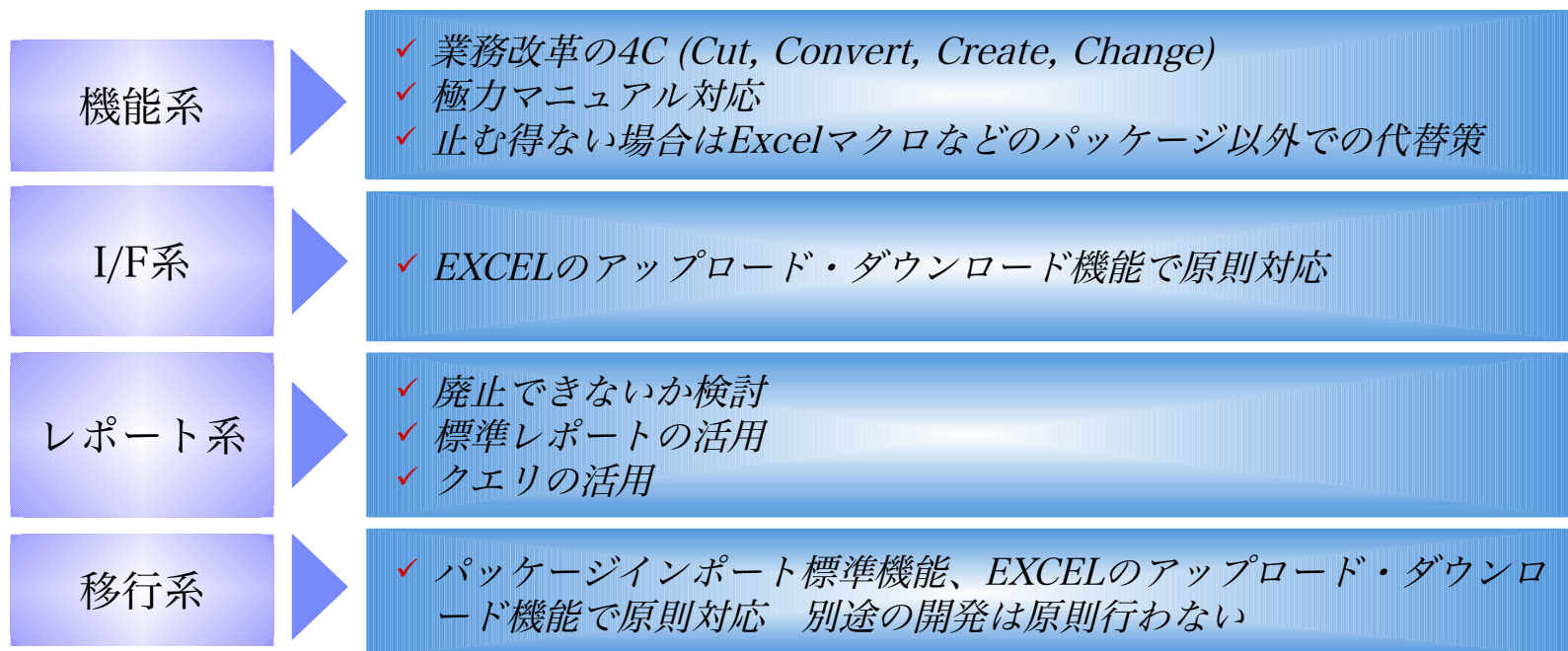
3. 例：プロジェクトの重要成功要因

短期システム導入を成功させるためには、以下のポイントが非常に重要となります。



4. 追加開発工数の抑制

短期間でのシステム構築を実現するためには、追加開発工数の増大を防止することが重要です。



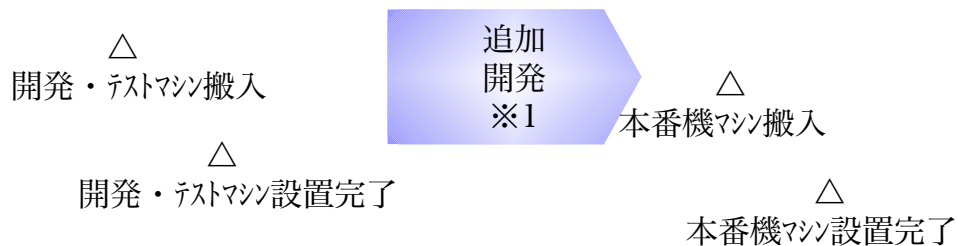
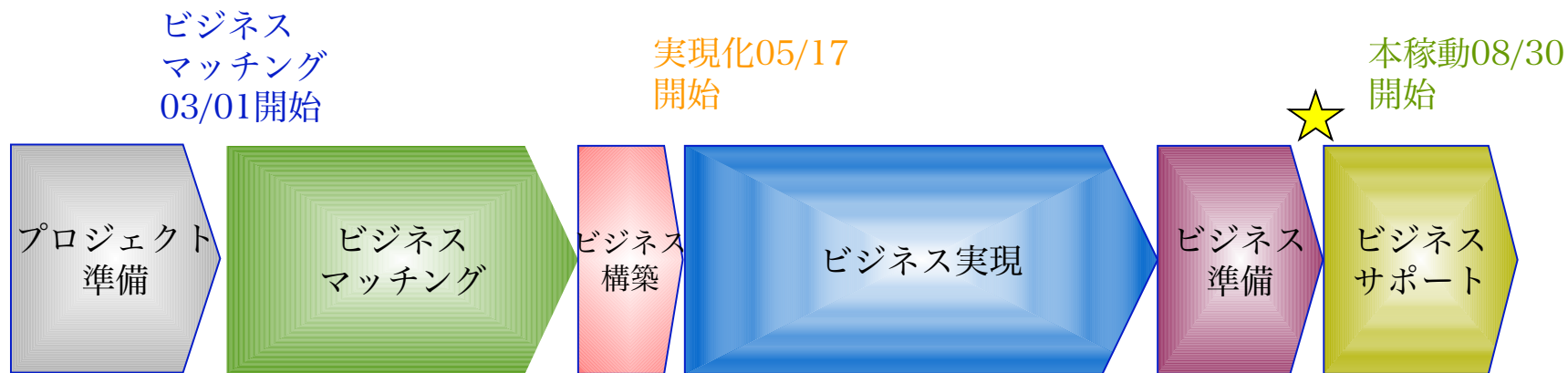
全体予算を考慮し、パッケージで持っている業務プロセスにいかに合わせるかがポイント
この施策にぶれが生じるとスケジュールの遅延、システム全体の品質低下につながる

プロジェクトを強力なリーダーシップで推進し、ユーザーの反対を説得するなど
プロジェクトメンバーによる業務改革実行の断行も非常に重要

5. プロジェクト全体スケジュール (案)

ステップ1: 新システム導入

★ サービスイン



※1 ビジネスマッチング後に追加開発候補を決定する予定です

6. プロジェクトアプローチ概要

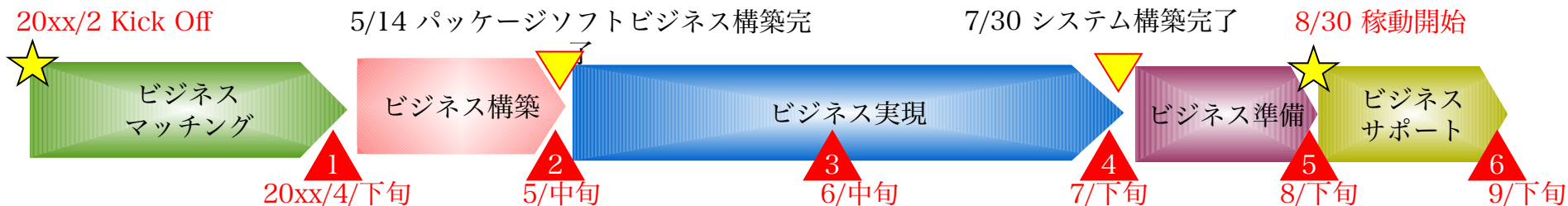
	ビジネスマッチング	ビジネス構築	ビジネス実現	ビジネス準備	サービスイン ★ ビジネスサポート
期間	3/1-4/23 (8週間)	4/26-5/14 (3週間)	5/17-7/30 (11週間)	8/2-8/27 (4週間)	8/30-9/30 (5週間)
進め方	<ul style="list-style-type: none"> パッケージソフトが持つ標準業務フローをベースに貴社の新業務フローを作成 デモ機を活用しながらビジネスマッチングを実施 GAP部分が発生したら課題化し対応方針を決定 パッケージソフト組織定義、マスタ定義を机上で確定 	<ul style="list-style-type: none"> 貴社組織、マスタを反映したパッケージソフト環境で実際に処理を実施し、新業務フローを確認 最終的なGAP確認と対応策（開発有無など）を決定 追加開発を確定し、承認されたものを設計 移行方針の決定 	<ul style="list-style-type: none"> 他システム連携や外部帳票作成など最小限の開発を行い、開発物との結合テストを行う 統合テスト、総合テストの実施 移行テストを実施 権限設計、権限設定 ユーザ研修の一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> 本番マスタの移行 ユーザ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新システムにて業務を実施
終了条件	<ul style="list-style-type: none"> パッケージソフト実装対象業務フローが確定している GAPが洗い出されている パッケージソフト実装対象組織と主要マスタが確定している 	<ul style="list-style-type: none"> パッケージソフト実機で新業務が実現できていることがユーザによって確認されている（追加開発を除く） GAP対応方針が確定している 	<ul style="list-style-type: none"> 追加開発が完了し、総合テストが完了している 権限が設定されている 移行テストが完了している 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザの研修が完了している 	<ul style="list-style-type: none"> 本番移行が成功し、日次業務が実施できている

7. プロジェクトスケジュール

		20xx年										20xx年		
		3/1~4/23	4/26~5/14			5/17~6/18	6/21~7/16	7/20~7/30	8/2~8/27		8/30~9/30			
		★開発機導入		★アドオン決定			★本番機導入		★稼動判定		▼サービスイン			
		ビジネスマッチング		ビジネス構築			ビジネス実現			ビジネス準備	ビジネスサポート			
A d e m p i e r e	システム	Adempiere導入		ビジネスマッチング (組織・コード設定、初期プロト構築)		プロト構築	プロト検証	課題対応確定	プロト最終版構築 アドオン機能の組込		稼動後サポート			
							権限設計	権限反映						
		開発 (ERPアドオン)		アドオン候補		実装設計	費用見積	アドオン要件詳細定義	アドオン開発・単体テスト		開発後フォロー			
		移行		プロト用マスタ設定		移行要件定義	移行設計支援		移行テスト支援 (一次)		移行テスト支援 (最終)	本番移行支援		
		研修				Adempiere画面サンプル提供		操作サンプル追加 (修正・開発分)						
		業務		Adempiere導入 (業務チーム)		ビジネスマッチング (新業務フロー作成とGAP洗出し)		プロト検証 (課題対応決定)	課題対応確定	プロト最終版検証		ヘルプデスク業務		
			移行 (システムチーム)		プロト用マスタ準備		プロトデータ準備	移行設計		移行PG設計	移行PG開発・テスト	移行テスト (一次)	移行テスト (最終)	本番移行 (マスタ→TRN) ★マスタ移行
			移行 (データ整備)				移行データ整備 (一次)				移行データ整備 (最終化)			
			研修		方針策定	計画策定	研修計画策定	画面作成研修	マニュアル準備	マニュアル作成		研修準備	エンドユーザ教育 (集合教育・自習)	
		システム	インフラ担当インフラSE		連携要件定義		実装設計	Adempiere IF設計	BI/BO開発	Adempiereの連携機能開発・単体テスト		本番機導入準備	本番機構築	
	業務	開発担当		連携要件定義		既存システム改修設計		既存システム改修プログラム開発単体テスト		統合テスト		総合テスト (既存SYS側)		
イ ン フ ラ	システム	BASIS担当インフラSE		Adempiere環境拡張		検証環境構築	運用構築	Adempiere本番サーバー環境構築	インフラ運用テスト・手順引継		本番機導入準備	本番機構築	技術支援・課題対応	
	業務	運用担当		Adempiere連携設定		開発環境運用 (順次移管)		インフラ運用テスト確認・習得		Adempiereインフラ運用				

8. プロジェクトマイルストーン

マイルストーンは以下ようになります。各マイルストーンでは、フェーズの進捗状況を確認し、次フェーズ開始の判断及びプロジェクトの方向性に関わる協議を行います。



フェーズ	マイルストーン	確認・判断事項
ビジネスマッチング	1 新業務プロセス策定	新業務プロセスを策定し、追加開発対象候補を確定してビジネスタイプの開始を合意する
ビジネス構築	2 新業務プロセス・パッケージ適用可否/範囲確定	新業務プロセス、パッケージの適用可否/範囲を確定するとともに追加開発対象を決定し、ビジネス実現フェーズの開始を合意する
ビジネス実現	3 テスト準備完了	標準機能設定及び追加開発された機能（仕様）の凍結とテストの準備状況を確認し、テストの開始を合意する
	4 システム構築完了	テストの完了を受けてシステムの構築が完了したことを確認し、ビジネスリハーサルの開始を判断する
ビジネス準備	5 ビジネスリハーサル完了 ビジネス移行完了	ビジネスリハーサル、ビジネス移行及びユーザートレーニングが完了したことを確認し、ビジネス稼動の開始を判断する
ビジネスサポート	6 プロジェクト完了	維持運用体制へのナレッジトランスファーが完了したことを確認し、プロジェクトの完了を合意する

9. ワークショップの進め方

- ワークショップを計画的に実施し討議を重ねることにより、納得性の高い案を作成します。
- ビジネスマッチングでは、パッケージソフト標準機能、フローを仮説新業務フローとして検証します。
- 仮説新業務フローに対し、貴社要件との差異(検討課題)を確認した後、検討課題の解決を業務的視点、システムの視点から検討していき、最終的に実務を考慮した対応策としてまとめます。

